

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

2020 年度

法人名	長野県高齢者生活協同組合	代表者	田中 夏子	法人・事業所の特徴	「ひとりぼっちにならないしない」をスローガンに、誰もが安心して暮らせる地域を作る協同組合です。みんなの家下條は、一人ひとりと手と心をつなぎ想いを大切にす る介護を目指しています。それぞれのできることやりたいことを中心に、その人らしい生活を送る為の支援を行います。
事業所名	みんなの家下條	管理者	井澤佐貴子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2 人	人	1 人	4 人	1 人	人	3 人	人	11 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・私たちの到達点を明確にし、具体的な改善策を提示します。	・幅広い専門性が必要な役割であることがわかった。 ・みなさん真面目に取り組まれていることが伺えた。 ・よく考えながら業務にあたっている。たいへんな仕事である。	・いつも評価内容（設問）が分かりにくく、判断に困る。 ・何をもって評価するのか難しい。設問そのものを見直した方がいい。 ・もっと記入しやすい自己評価にすべきではないか。・毎年この時期に評価をするが、本当に必要「？」と考えてしまう。	・当初の計画にとらわれるのではなく、日々変わる現状と評価を常に振り返る必要があり、必要に応じて方向性を見直していくことを大切にします。 ・毎年一回の「自己評価」だけでなく、業務レベルにおいては四半期に一回程度の定期的な振り返りを行います。
B. 事業所のしつらえ・環境	・清掃の徹底及び感染症対策としての換気や消毒を確実に実施します。 ・気軽に立ち寄れる雰囲気づくり（植栽や清掃等）を行います。 ・図書館（分館）の活用や誰もが参加できる行事の企画を行います。	・いつ来ても清潔に保たれているので、何年たっても新しい感じがする。 ・介護事業所にありがちな尿臭などがほとんど無い	・幹線道路に面しているのが心配。標識や看板を立ててはどうか。 ・玄関先のお花がキレイで思わず見ってしまう。喫茶店みたいでお洒落な外観。 ・いつも清掃をされているので、	・外回りの環境整備（清掃や花植え）をさらに進め、介護事業所らしく無い雰囲気を演出します。 ・玄関先の安全確保のため、定期的に注意喚起を行います（看板設置や広報の活用）。 ・引き続き小さな図書館やサロン活動を行うことで、地域の方が気軽に立ち寄れる場づくりを目指します。
C. 事業所と地域のかかわり	・事業所を身近に感じてもらうために、当事業所を使っている行事や学習会の企画を検討します。	・地域に無くてはならない施設になっている。 ・利用者から「行くのが楽しみ」との声聞く。 ・定期的に発行される広報紙を楽	・ボランティア（コロナ終息後）との連携を進めてほしい。活躍の機会を求めている人も多い。 ・地域を大切にしていることがよく分かる。本当に感謝です。	・広報紙（かわらばん）の工夫と充実を行います ・感染対策のもとで定期的な介護相談会を企画・実施します。

	・地域向け広報紙の充実を図り、積極的に情報の提供を行います。 ・介護相談会（よろず相談）を開催します。	しみに読んでいる。毎回よく書かれている。 ・感染症の影響で行事などが中止となるケースが多かったが、そうした中でも色々工夫されていた。	・見学会（介護と関係ない人も）などを企画してほしい。	・日々の取り組みに積み重ねと定期的な振り返りを実施します。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・保育所（交流会）や中学生（職場体験）との連携を引き続き行い、若い世代の人たちにも身近の感じてもらえることを目指します。 ・見学会や体験利用を企画し、より身近な存在になれる様に努めます。	・感染症のため行事に制約がある様だが、そうした中でも工夫がされている。 ・ケースによっては地域の方と連携できている。 ・通常の業務（介護保険）以外の取り組みにも力を入れており、そのことが事業所にとって大きなプラスになっていることがわかる。 ・様々な取り組みから、「地域密着型」の意味が分かる気がする。	・まだまだ関係ないと思っている人も多い。多くに人に関心をもってほしい。 ・感染症が終息したら、今までどおり利用者さんを外に連れ出してあげてほしい。 ・地域のイベントも大切にしたいが、事業所を活用してのイベントも企画してほしい。 ・家族にとっても優しい事業になってきた。	・引き続き「地域連携」をキーワードに取り組みを進めます。 ・狭い療育での「介護保険事業」の活動では無く、「地域連携・地域へのお役立ち」を目指した活動を行います。 ・介護保険の利用者さんであると同時に、地域の住人であることを実感できる様な企画を実施します。（歌の会、イベント参加、幼稚園・中学生との交流会など）
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・より多くの方に声をいただくため、民生委員や介護職員の参加を広げます。 ・報告会議にならない様に、毎回テーマを投げかけながら進行を行い、意見・要望が出しやすい仕掛けづくりを行います。 ・事業所情報だけでなく、色々な情報提供ができる様に努めます。	・毎回映像で紹介してもらえるの様子が伝わりやすい。とても工夫されている。 ・「地域」との関係を大切にしていることがよく分かる。 ・「利用者の心配」＝「地域の心配」だと考える。色々事例を紹介してほしい。 ・民生委員が交代で2名ずつ参加する様になったので、色々な意見が出る様になった。	・参加者（特に家族）が固定化されており、もっと色々な方に参加してほしい。 ・曜日や時間帯を変えてみては？（日曜日とか、昼間とか）日ごろ参加できない人も来ることができるかもしれない。 ・ご家族の中には言いたくても遠慮している人もいると思う。気軽に意見や要望の出せる機会（アンケートや家族会）を設けてはどうか。	・参加者が固定化してきているため、地域の色々な立場に方にも参加を働きかける。（福祉課以外の職員や駐在所、消防署の職員等） ・出された意見がどう活かされたか、改善されたかが分かる様な報告を意識します。 ・一方通行の報告会議では無く、気軽に意見が交わせる会議運営にこだわります。
F. 事業所の防災・災害対策	・消防計画の見直しや全体での再確認を行います。 ・定例の防火訓練では、引き続き具体的な状況設定をもとに訓練を実施します。 ・当事業所だけでなく、利用者宅の環境把握も行い、災害発生時のサービス利用の在り方も想定します。	・防災訓練（火災訓練）が定期的に行われていることは報告から知ることができる。 ・台風や大雨の予報が出ているときは、サービス予定外の日でも意識的に利用して頂くと利用者の安心につながる。特に独居者や老々者は安心である。	・災害は不意に訪れるもの。常に意識づけすることと、定期的な訓練を繰り返すことが大切。 ・いざと言うときには近所の方との連携が必要。（特に夜間）日ごろから声かけをしておくといい。 ・いざと言うときに介護保険利用者以外の高齢者も預かってもらえると安心である。	・年2回の避難訓練（防災訓練）の充実を図ります。 ・防火管理者の2名体制により職員体制の強化を行います。 ・避難路確保のための環境整備及び消防機器の定期検査を実施します。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	9		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	8		1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	9		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	9		

【上記 4 つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・幅広い専門性が必要な役割であることがわかった。
- ・みなさん真面目に取り組まれていることが伺えた。
- ・いつも評価内容（設問）が分かりにくく、判断に困る。
- ・何をもって評価するのか難しい。設問そのものを見直した方がいい。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・日々工夫されていることが分かった。
- ・よく考えながら業務にあたられている。たいへんな仕事である。

【今回の 9 つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・分かりやすい計画になっているが、実践するのはたいへんだと思う。
- ・計画そのものよりも、実践を積み重ねていくことが大切。
- ・計画にとらわれる必要はないのでは？計画は変わるし、臨機応変に取り組めばいい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・自己評価は大切だけど、全ての事業所が同じ様式にする必要はないと思う。
- ・もっと記入しやすい自己評価にすべきではないか。まとめるのも大変ではないか。
- ・毎年この時期に評価をするが、本当に必要「？」と考えてしまう。

【改善計画】※後日記入

- ・最初の計画にとらわれるのではなく、日々変わる現状、計画、評価があっているか否かを常に振り返る必要があり、必要に応じて方向性を見直していくことを大切にします。
- ・毎年一回の「自己評価」だけでなく、業務レベルにおいては四半期に一回程度の定期的な振り返りを行います。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	9		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	9		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	9		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	6		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・いつ来ても清潔に保たれている。
- ・幹線道路に面しているのが心配。標識や看板を立ててはどうか。
- ・介護事業所にありがちな尿臭などがほとんど無い。

【前回の改善計画】

- ・日々の清掃と合わせ、感染症対策としての換気や消毒を確実に実施します。
- ・気軽に立ち寄れる雰囲気づくり（植栽や清掃等）を引き続き行います。
- ・小さな図書館（分館）の活用や誰もが参加できる行事の企画を行います。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・玄関先のお花がキレイで思わず見てしまう。喫茶店みたいでお洒落な外観。
- ・いつも清掃をされているので、何年たっても新しい感じがする。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・外回りの環境整備（清掃や花植え）をさらに進めることで、介護事業所らしく無い雰囲気を演出します。
- ・玄関先の安全確保のため、定期的に注意喚起を行います（看板や広報を活用）。
- ・引き続き小さな図書館やサロン活動を行うことで、地域の方が気軽に立ち寄れる場づくりを目指します。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		1
1	職員はあいさつできていますか？	9		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	7		2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		5
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域に無くてはならない施設になっている。
- ・利用されている方から「行くのが楽しみ」との声を聞く。
- ・職員のみなさん明るく優しい。
- ・定期的に発行される広報紙を楽しみに読んでいる。毎回よく書かれている。

【前回の改善計画】

- ・より事業所を身近に感じてもらうために、当事業所を使つての行事や学習会の企画を検討します。
- ・地域向け広報紙の充実を図り、積極的に情報の提供を行います。
- ・介護相談会（よろず相談）を開催します。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・感染症の影響で行事などが中止となるケースが多かったが、そうした中でも色々工夫されていた。
- ・ボランティア（コロナ終息後）との連携を進めてほしい。活躍の機会を求めている人も多い。
- ・地域を大切にしていることがよく分かる。本当に感謝。
- ・見学会（介護と関係ない人も）などを企画してほしい。

【改善計画】※後日記入

- ・広報紙（かわらばん）の工夫と充実を行います。
- ・感染対策のもとで定期的な介護相談会を企画・実施します。
- ・日々の取り組みに積み重ねと定期的な振り返りを実施します。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	7		2
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4	2	3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	8		1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	6	1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・感染症のため行事に制約がある様だが、そうした中でも工夫がされている。
- ・感染症が終息したら、今までどおり利用者さんを外に連れ出してあげてほしい。
- ・ケースによっては地域の方と連携できている。連携のしやすさは下條村の地域性かも。
- ・地域のイベントも大切にしてほしいが、事業所を活用してのイベントも企画してほしい。

【前回の改善計画】

- ・保育所（交流会）や中学生（職場体験）との連携を引き続き行い、若い世代の人たちにも身近の感じてもらえることを目指します。
- ・見学会や体験利用を企画し、より身近な存在になれる様に努めます。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・通常の業務（介護保険）以外の取り組みにも力を入れており、そのことが事業所にとって大きなプラスになっていることがわかる。
- ・様々な取り組みから、「地域密着型」の意味が分かる様な気がする。
- ・家族にとっても優しい事業になってきた。
- ・まだまだ関係ないと思っている人も多い。多くに人に関心をもってほしい。

【改善計画】※後日記入

- ・引き続き「地域連携」をキーワードにした取り組みを進めます。
- ・狭い療育での「介護保険事業」の活動では無く、「地域連携・地域へのお役立ち」を目指した活動を行います。
- ・介護保険の利用者さんであると同時に、地域の住人であることを実感できる様な企画を実施します。（歌の会、イベント参加、幼稚園・中学生との交流会など）

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	9		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	9		
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	9		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	9		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 毎回映像で紹介してもらえるので様子が伝わりやすい。とても工夫されている。
- ・ 「地域」との関係を大切にしていることがよく分かる。
- ・ 「利用者の心配」＝「地域の心配」だと考える。色々事例を紹介してほしい。
- ・ 色々な立場の人の意見を取り入れ様としているのが分かる。

【前回の改善計画】

- ・ より多くの方に声をいただくために、民生委員や介護職員の参加を広げていきます。
- ・ 報告会議にならない様に、毎回テーマを投げかけながらの進行を行い、意見・要望が出しやすい仕掛けづくりを行います。
- ・ 事業所情報だけでなく、色々な情報提供ができる様に努めていきます。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・ 民生委員が交代で2名ずつ参加する様になったので、色々な意見が出る様になった。
- ・ 参加者（特に家族）が固定化されており、もっと色々な方に参加してほしい。
- ・ 曜日や時間帯を変えてみては？（日曜日とか、昼間とか）日ごろ参加できない人も来ることができるかもしれない。
- ・ ご家族の中には言いたくても遠慮している人もいると思う。気軽に意見や要望の出せる機会（アンケートや家族会）を設けてはどうか。

【改善計画】※後日記入

- ・ 参加者が固定化してきているため、地域の色々な立場の方にも参加を働きかけます。（福祉課以外の職員や駐在所、消防署の職員等）
- ・ 出された意見がどう活かされたか、改善されたかが分かる様な報告を意識します。
- ・ 一方通行の報告会議では無く、気軽に意見が交わせる会議運営にこだわります。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	2	5
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2		7
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		4	5
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・防災訓練（火災訓練）が定期的に行われていることは報告から知ることができる。
- ・台風や大雨の予報が出ているときは、サービス予定外の日でも意識的に利用して頂くと利用者の安心につながる。特に独居者や老々者は安心である。
- ・いざと言うときに介護保険利用者以外の高齢者も預かってもらえると安心である。

【前回の改善計画】

- ・消防計画の見直し及び職員全員での再確認を行います。
- ・定例の防火（防災）訓練では、引き続き具体的な状況設定をもとにした訓練を実施します。
- ・当事業所だけでなく、利用者さん宅の環境把握も行い、災害発生時のサービス利用の在り方も想定します。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・災害は不意に訪れるもの。常に意識づけすることと、定期的な訓練を繰り返すことが大切。
- ・いざと言うときには近所の方との連携が必要。（特に夜間）日ごろから声かけをしておくといい。

【改善計画】※後日記入

- ・年2回の避難訓練（防災訓練）の充実を図ります。
- ・防火管理者の2名体制により職員体制の強化を行います。
- ・避難路確保のための環境整備及び消防機器の定期検査を実施します。